まちのおしごと

やってみたい仕事が見つかる！

VOL.35

ライズ 株式会社

個性を生かせる 就労活動を応援

弊社は平成28年に起業し、障がいを抱える方への福祉サービスを提供しています。起業のきっかけは、自閉症を抱える私の長男の進路を考えたときに、将来の居場所を作りたいと考えたことです。始めに農業を中心に木工、リサイクルに関する事業等を行う就労継続支援B型事業所「咲楽工房」を東原町で立ち上げました。その後、利用者からの要望もあり、生活介護施設「つぼみ」（吾平町麓）やグループホーム「cosumosu」（旭原町）を設立。また、一昨年には事業を分ける形で分社化し「一般社団法人soleil」を設立し、グループ会社としてより柔軟に福祉事業に取り組んでいます。

起業した当初は利用者側としての経験はあったものの、農業や会社の運営、経営に関しては全くの素人。利用者が全くいない状況もありましたが、相談支援専門員の方の協力もあり認知度が徐々に向上し、利用者が増えてきて現在に至ります。

利用者が楽しく仕事を行い成果報酬を得る、その際に仕事をすることの喜びを感じてもらう、この過程を作ることが弊社の重要な役割です。苦労もありますが、利用者の皆さんの喜ぶ姿を見ることがやりがいでもあります。

今後は「人を育てる」という弊社の理念のもと、利用者の皆さんの福祉事業所での更なる活躍はもちろん、ステップアップし一般の事業所でも十分に自分の個性を生かして活躍できる人を育てていけるように、職員と力を合わせて努力していきます。

ライズ 株式会社
草葉 正司 代表取締役

≪私の仕事

私は指導員としての業務を行っており、利用者さんに指導を行いながら一緒に働いています。農業関係が主で唐辛子やピーマンの収穫のほか、市資源センターでの家電リサイクル業務も行っています。分からないことは先輩がすぐに教えてくれるのでとても助かっていて感謝しています。仕事は体力的にきついと感じることもありますが、利用者さんとコミュニケーションをとりながら業務を進める中で「ちゃんとできた」等の声で元気になります。

今後は、資格取得にも挑戦し、コミュニケーションを大切にしてより仕事が楽しくできるように努力していきます。

指導員
山越 まひろ さん
（21歳／入社１年目）
東串良町出身。鹿屋農業高校を卒業後、熊本県の短大へ進学し、専門分野が生かせる同社で就職。趣味でもあるクラフトの指導業務も楽しいと話す。

SDGsの取り組み

12 つくる責任 つかう責任

野菜の残さ物のたい肥化

自分たちで生産した野菜の残さ物は、高尾小学校跡地できくらげ栽培を行っている企業の協力を得て、たい肥化を行っています。きくらげの菌床を利用することでたい肥化し、自分たちの畑で再利用しています。

ココに注目!!

農福連携 企業との協働を図る

農福連携とは、障がい者等が農業分野での活躍を通じて自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取り組みです。弊社は就労継続支援B型事業所として、特に農業分野に力を入れており、農業を主体とする企業や農家の方と協力して3年前から農福連携の取り組みを行っています。市内企業から青唐辛子の生産を請け負い、3年目からは市内福祉事業所7社で成果物を商品として納品。こうした協働を図ることで互いが抱える課題を解決し、地域社会に貢献できると考えています。

弊社としてはこのような事例を増やしたいと考えており、それが他の福祉事業所の利用者を含め働き先の確保につながると期待しています。

▲咲楽工房では、季節に合わせて様々な農作物を作っており、農業まつり等では販売も行っている。

ライズ 株式会社

○住　　所　鹿屋市東原町 6874-4
○電　　話　0994-37-5389
○設　　立　平成 28 年　○代表者　草葉 正司
○従業員数　13 人
○平均年齢　40.0 歳
○採用実績　１人（令和６年度）
○福利厚生　各種保険（雇用、健康、厚生年金、労災）、通勤手当、退職金制度、各種休暇制度

▶ホームページ

≪おすすめスポット

私のおすすめスポットは、「ダマスクの風」です。季節を問わず、種類も色も香りも様々なお花が咲いていて癒されますし、時期によっては幸せを呼ぶ青い蜂ブルービーと呼ばれる「ルリモンハナバチ」も見ることができ、訪問客で賑わっています。

また、園内でみんなを迎えてくれる、かわいいねこちゃんにも会えるので、家族で癒されによく訪れています。

皆さんもご家族やご友人と、ぜひ足を運んで、癒されてみてはいかがでしょうか。

ダマスクの風

〒891-2302
鹿屋市小薄町 4994-2
☎ 0994-46-5627
休園日　不定休　入園料　300 円
開園時間　ガーデン 9:00 ～ 17:00
　　カフェ 10:00 ～ 16:30